

事業主体名	恩納村
-------	-----

令和元年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート

事業名	「やんばるの自然」関連施設整備事業				担当課名	商工観光課	
					認定市町村名	恩納村	
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input type="checkbox"/>	現年事業	事業実施(予定)年度	令和元年度～2年度
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input checked="" type="checkbox"/>	繰越事業		
事業内容	沖縄本島有数のダイビングスポットである真栄田岬、恩納村海浜公園ナビビーチ施設内に多言語案内板を設置する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	当初予算額					
		増減額					
		予算現額	0	0			
		前年度から繰越	0	2,538,000			
		翌年度へ繰越	2,538,000	0			
		計	▲ 2,538,000	2,538,000	0	0	0
		執行済額	0	2,420,000			
		うち補助金充当額	0	1,936,000			
		不用額		118,000			
		執行率(%) (B/A)	0.0%	95.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	当初、令和元年度完成予定していたが広域観光情報発信に向けた詳細内容等の調整に不測の日数を要したため、業務については次年度以降に取り組むこととした。不用額118,000円は入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	多言語案内板設置	目標	(0基)	(2基)	()	()	
		実績	内容検討(繰越)	設置完了			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	北部広域市町村圏事務組合及び沖縄本島北部圏域市町村との効果的な広域観光情報発信に向けた詳細内容等の調整に不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となった。令和2年度へ繰越を行い、真栄田岬及びナビビーチの施設内に多言語案内板を設置した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (H30年度)	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	真栄田岬周辺活性化施設来訪客数	目標		(-)	(-)	(520,101)
		実績	416,541	445,316	253,058	143,834
	成果目標(指標)		基準値 (H30年度)	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	真栄田岬周辺活性化施設消費額	目標		(-)	(-)	(71,435,627)
		実績	59,529,689	63,301,322	32,405,654	17,719,536
	成果目標(指標)		基準値 (H30年度)	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	恩納村海浜公園ナビビーチ来訪客数	目標		(-)	(-)	(75,280)
		実績	42,040	46,025	12,503	7,939
	成果目標(指標)		基準値 (H30年度)	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
恩納村海浜公園ナビビーチ消費額	目標		(-)	(-)	(99,175,200)	
	実績	82,646,000	92,711,552	19,712,476	14,930,855	
進捗状況説明	<p>○真栄田岬周辺活性化施設来訪者数は、143,834人(R3)であり、達成率は27.7%にとどまる。 ○真栄田岬周辺活性化施設消費額は、17,719,536円(R3)であり、達成率は24.8%にとどまる。 ○ナビビーチの来訪者数は、7,939人(R3)であり、達成率は10.5%にとどまる。消費額は、14,930,855円(R3)であり、14.9%にとどまる。 ○施設消費額の目標値については、H30より20%の加算数値である(北部広域算出数値参考)</p>					

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○新型コロナウイルス感染症に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、観光繁忙期に施設を閉館することとなり、来訪者が減少した。</p>	<p>○緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間における施設の運営・管理について検討が必要。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○ウィズコロナ・アフターコロナの取り組みを北部全体で実施し、観光誘客に努める。 ○他自治体で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間における取組を参考にする。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
2,420,000	2,420,000	1,936,000	484,000	0

資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	請負業者は入札により選定しており、妥当だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	見積額を参考に、適切に積算を行っている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	